

君津市保育環境整備の全体像について

保健福祉部

待機児童の解消や多様化する保育ニーズへの対応、施設の老朽化等、本市の保育環境に係る課題の解決に向け、平成27年10月に策定した「君津市保育環境整備に関する基本方針」に基づき、今後、次のとおり保育施設の整備を行う。

1 各保育園の整備内容

(1) (仮称) 貞元保育園

次に掲げる役割を担う、市内保育園の中心的な位置付けの公立保育園として、貞元地先の市有地に整備する。定員は150名とし、令和6年度開園を目指す。

ア セーフティーネットとしての役割

すべての家庭に対する子育て支援を視野に入れ、特別な支援が必要な児童の受け入れ等、セーフティーネットとしての機能を担う。

イ 基幹保育園としての役割

公立・民間保育園の連携や、各種研修の実施・運営上の指導助言など人材育成の機能を有した地域の核となる「基幹保育園」として整備する。また、災害時においても早期の開園が可能となるよう強固な施設整備を行う。

ウ 入園児童調整に関する役割

安定した保育の供給を確保するためには民間保育園の安定的な経営が必要であることから、需要に応じた保育の供給調整の役割を担うとともに、小規模保育園の連携施設としての役割を担う。

(2) 久保保育園・上湯江保育園・常代保育園

新設する(仮称)貞元保育園や令和2年度開園予定の3つの民間保育園への移行を推進し、待機児童の解消状況を踏まえて閉園に向けた取組みを行う。

(3) 内箕輪保育園・南子安保育園

昨今の民間事業者の参入動向を踏まえ、民間活力の導入による整備を行う。

(4) 人見保育園

周西幼稚園で培った幼児教育のスキルやノウハウを継承し、幼児教育と保育の発展

的融合を図り、多様化する保護者ニーズに対応するため、令和2年4月に認定こども園として開園する。

(5) 中保育園・小糸保育園

小糸地区の就学前児童数の推移等を踏まえ、中保育園及び小糸保育園を統合することとし、小糸地区の公共施設再配置の検討を進めていく中で、昨今の民間事業者の参入動向から、民間活力の導入も視野に入れた整備方針を決定する。

(6) 清和保育園

清和地区の公共施設再配置の検討を進めていく中で、整備方針を決定する。

(7) 小櫃保育園・かずさあけぼの保育園

現施設の継続利用を前提に、計画的な維持保全を図ることで建物の耐久性を維持し、劣化を最小限にとどめ、最も経済的なライフサイクルコストを目指す。

2 今後のスケジュール

具体的な整備方針を示す君津市保育環境整備計画を策定する。

なお、整備計画の策定に当たっては、空き公共施設の有効活用・複合化など、今後、策定される公共施設再配置方針等との整合を図るものとする。

令和2年2月～4月	庁内協議、子ども・子育て会議
5月	議会報告（素案）
6月	まちづくり意見公募手続
8月	議会報告（最終案）
9月	策定